



▲新調したやぐらを囲み、大いに盛り上がった盆踊り



▲盆踊りの練習。振り付けも自分たちで考えました

地域の話題

# 高松校区

## 地域一丸となつて盆踊りを復活！

『人と人 人と自然 絆を育むまちづくり』事業の

ひとつとして、盆踊りを復活させた

高松コミュニティ協議会からお便りが届きました。



### 夏の風物詩、盆踊りをもう一度

青年団の解散に伴い、数十年開催していなかった高松校区の盆踊り。一昨年ごろから「ぜひ、盆踊りを復活させたい」という声がささやかれ始めました。

今年の1月に過去5年の高松小PTA会長などが実行委員となり、若者の有志もそれに参加する形で動き始めました。そして、実行委員が精力的に打ち合わせを重ね、復活に向けて準備を進めていきました。一番の懸念材料だったやぐらも市からの補助を受け新調し、祭りが現実味を帯びてきました。

### 踊りの練習にもみんな参加

練習は6月中旬から始め、約15日

間行いました。最初は慣れない曲や踊りに戸惑いました。昔の曲だけでなく新しい曲も取り入れようと話し合い、振り付けも自分たちで考え、子どもたちと一緒に練習しました。

そのおかげで次第に上達し、毎夜の練習には世代を超えて参加し、成功の予感がしてきました。

### イベント複合開催で大盛況

当日は市民館まつり、フレンドシップデイも同時開催し、相乗効果を図りました。

市民館まつりは芸能発表に始まり、また盆踊りの隣では、とうもろこしやだんご、焼き鳥などの屋台を開きました。暑い中、行列ができ、子どもからお年寄りまでたくさん



人たちにぎわいました。

市民館のグラウンド中央に立派なやぐらを建て、その周りには人の輪ができました。浴衣姿での参加者も多く、みんな楽しそうに踊って、大いに盛り上がりました。

大成功を収めた盆踊り。これは地域が一丸となつて一つの目標に向かった成果です。これからは高松校区のスローガンでもある「人と人と自然 絆を育むまちづくり」を実践し、地域を盛り上げていきたいと思えます。



▲大人気だった食べ物の屋台